

1.	①	6.	③	11.	①
2.	②	7.	②	12.	③
3.	③	8.	①	13.	②
4.	③	9.	①	14.	②
5.	②	10.	②	15.	③

1.

解答 ①

【解説】

[和訳] その調査は、誰が会社の資金を盗んだのかという真実を明らかにするでしょう。[解説] 調査によって隠されていた事実（真実）が表に出るという文脈から、①reveal（～を明らかにする/暴露する）が適切です。誤答の②repeat は（繰り返す）、③refuse は（拒否する）、④remain は（～のままである）なので不適です。

◆補足：【コロケーション】 reveal a secret: 秘密を漏らす, reveal the truth: 真実を明らかにする / 【類義語・使い分け】 disclose: 公開する・暴く（公的な響き）, expose: さらす・暴露する / 【多義語】 なし

2.

解答 ②

【解説】

[和訳] 強い関係を築くには、相互の信頼と正直なコミュニケーションが必要です。[解説] 良い人間関係の基盤となる要素として、正直さ（honest）と並んで重要なのは②trust（信頼）です。誤答の①thirst は（渇き）、③truth は（真実）、④taste は（味）なので不適です。

◆補足：【コロケーション】 trust fund: 信託基金 / 【類義語・使い分け】 confidence: 自信・信用（確信の度合いが強い）, reliance: 依存・頼ること / 【多義語】 委託・信託

3.

解答 ③

【解説】

[和訳] A: ペンを持っていますか？ B: はい。後で返してもらう必要があることを覚えておいてください。[解説] 「覚えておく、心に留める」という熟語 keep in mind を構成するため、③mind（心、

精神)が適切です。誤答の①moodは(気分)、②modeは(様式)、④markは(印)なので不適です。

◆補足:【コロケーション】keep in mind: 心に留めておく, change one's mind: 気が変わる / 【類義語・使い分け】heart: 心(感情の中心), spirit: 精神・魂 / 【多義語】動詞として「嫌がる、気にする」

4.

解答 ③

【解説】

[和訳] 彼の毎日の日課には、朝のジョギングと朝食前の新聞購読が含まれています。[解説] 毎日決まって行う一連の活動を指すため、③routine(日課/決まりきった仕事)が適切です。誤答の①resultは(結果)、②reasonは(理由)、④recordは(記録)なので不適です。

◆補足:【コロケーション】daily routine: 毎日の日課, dance routine: ダンスの決まった振り付け / 【類義語・使い分け】habit: 個人の癖・習慣, custom: 社会的な慣習 / 【多義語】型通りの

5.

解答 ②

【解説】

[和訳] 母は台所で夕食を作っていました。その間、父は外で車を洗っていました。[解説] 「母が料理している」と「父が洗車している」という2つの同時進行の動作をつなぐ文脈から、

②meanwhile(その間に/一方では)が適切です。誤答の①thereforeは(したがって)、③otherwiseは(さもなければ)、④moreoverは(さらに)なので不適です。

◆補足:【コロケーション】meanwhile, back at the ranch: (話の場面転換で)一方そのころ本拠地では / 【類義語・使い分け】meanwhile: その間に・一方では, meantime: (名詞的に)その合間, in the meantime: その間に / 【多義語】なし

6.

解答 ③

【解説】

[和訳] その歴史の本はとても面白かったので、私は1日で読み終わりました。[解説] 「とても～なので…だ」という程度と結果を表す構文は so ... that ... であるため、③so interesting that が適切です。

誤答の①too ... to は「～すぎて…できない」、②very interesting so は接続詞の用法として不適切、④enough ... to は語順が (interesting enough to) であれば成立しますが、ここでは不適です。

◆補足:【コロケーション】so far that: 非常に遠いので, so busy that: とても忙しいので / 【類義語・使い分け】such ... that: とても～な(名詞)なので / 【多義語】なし

7.

解答 ②

【解説】

[和訳] 睡眠不足が、重要なテニスの試合での彼の不振の主な要因でした。[解説] 結果（不振）をもたらした原因という文脈から、②factor（要因）が適切です。誤答の①border は（国境）、③season は（季節）、④liquid は（液体）なので不適です。

◆補足：【コロケーション】key factor: 重要な要因, risk factor: リスク要因 / 【類義語・使い分け】factor: 結果に寄与する要素, cause: 直接的な原因 / 【多義語】因数（数学）

8.

解答 ①

【解説】

[和訳] 彼女の夢は、いつか故郷で自分のパン屋を経営することです。[解説] 店や会社を「経営する・運営する」という意味を持つ動詞として、①run が適切です。誤答の②walk は（歩く）、③move は（動く）、④turn は（回る）であり、ビジネスを運営するという意味にはなりません。

◆補足：【コロケーション】run a business: 事業を営む / 【類義語・使い分け】manage: 管理する（組織などを取り仕切る）, operate: 運営する・操作する / 【多義語】走る、流れる

9.

解答 ①

【解説】

[和訳] すべてのデータを分析した後、科学者たちはその理論が正しいという結論に達しました。[解説] 分析の結果として導き出されるものなので、①conclusion（結論）が適切です。誤答の②confusion は（混乱）、③connection は（つながり）、④condition は（条件・状態）なので不適です。

◆補足：【コロケーション】come to a conclusion: 結論に達する / 【類義語・使い分け】result: 結果（生じた事象）, outcome: 成果・結果 / 【多義語】結末・終了

10.

解答 ②

【解説】

[和訳] A: 夕食のチキンはどうでしょうか? B: 明日のランチ用に、その残り物を冷蔵庫に入れておこう。 [解説] 夕食の余りを翌日に回すという文脈から、②leftover (残りの) が適切です。誤答の①fresh は (新鮮な)、③spicy は (辛い)、④expensive は (高価な) なので不適です。

◆補足: 【コロケーション】 leftover food: 残り物の食べ物, leftovers: (名詞として) 残り物 / 【類義語・使い分け】 remaining: 残っている (客観的事実), leftover: 食事などの「残り」 / 【多義語】 なし

11.

解答 ①

【解説】

[和訳] 給料が家族を養うには低すぎたため、彼はその仕事のオファーを断らなければなりませんでした。 [解説] 提案や申し出を「断る」という意味の句動詞として、①turn down が適切です。誤答の②turn out は (判明する)、③turn up は (現れる/音量を上げる)、④turn on は (スイッチを入れる) なので不適です。

◆補足: 【コロケーション】 turn down a request: 要求を却下する, turn down the volume: 音量を下げる / 【類義語・使い分け】 refuse: 断る (意志を持って拒否する), reject: 却下する (強く拒絶する) / 【多義語】 なし

12.

解答 ③

【解説】

[和訳] トーナメントの決勝戦は、今夜テレビで生中継 (放送) されます。 [解説] テレビで視聴者に映像を届ける文脈から、③broadcast (放送する) の過去分詞形である broadcast が適切です (broadcast は現在・過去・過去分詞が同形)。誤答の①predicted は (予測された)、②educated は (教育された)、④calculated は (計算された) なので不適です。

◆補足: 【コロケーション】 broadcast live: 生放送する, broadcast news: ニュースを放送する / 【類義語・使い分け】 air: 放送する (口語的), televise: テレビ放送する / 【多義語】 broadcast: (種などを) 広くまく

13.

解答 ②

【解説】

[和訳] 仕事を失ったので、私はもはや高価な休暇に行く余裕がありません。 [解説] 金銭的な余裕がないことを表す文脈であり、「can afford to do (～する (金銭的・時間的) 余裕がある)」の形をとる

②afford が適切です。誤答の①affect は（影響する）、③effort は（努力 ※名詞）、④offer は（提供する）なので不適です。

◆補足：【コロケーション】 can't afford to buy: 買う余裕がない / 【類義語・使い分け】 have the money to: ～するお金がある（直接的な表現） / 【多義語】 なし

14.

解答 ②

【解説】

[和訳] その会社は、新年度の予算を話し合うために、毎年 4 月に年次総会を開催します。[解説] 「毎年 4 月に」という頻度を示す文脈から、②annual（年に 1 度の/例年の）が適切です。誤答の①daily は（毎日の）、③visual は（視覚の）、④casual は（形式ばらない）なので不適です。

◆補足：【コロケーション】 annual income: 年収, annual report: 年次報告書 / 【類義語・使い分け】 yearly: annual の口語的な同義語, anniversary: （名詞）記念日 / 【多義語】 annual: （植物が）一年生の

15.

解答 ③

【解説】

[和訳] 明日の朝、太陽は東から昇り、西に沈むでしょう。[解説] 太陽などの天体が自然に「昇る」場合は自動詞の③rise が適切です。誤答の①raise は他動詞で（～を上げる・育てる）、②ride は（乗る）、④rush は（急ぐ）なので不適です。

◆補足：【コロケーション】 prices rise: 価格が上昇する / 【類義語・使い分け】 raise: ～を上げる（他動詞）, arise: （問題などが）生じる / 【多義語】 名詞：上昇・昇給
